

【説明資料】発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的，利用方法，作品自体やその製作過程で工夫したことを，文章，写真，図などで説明。この用紙 1 枚に記入後，PDF ファイルを作成。

学校名	岐阜大学	個人・グループ名	久世 祥太	作品名	ダンボール本棚の製作
-----	------	----------	-------	-----	------------

1. 目的

近年では環境問題に対する関心が高まっている。その中でもごみ問題は年々深刻になりつつある。そこで、本来は捨てられるはずだったダンボールを用いて、生活の役に立つもの、使えるものを製作することで物を大切にする心やものづくりへの関心を育てることができると考えた。ダンボールを題材にした理由はまず、入手の容易さである。ダンボールはホームセンターやスーパーなど色々な場所で手に入れることができることが利点の1つである。また、ダンボールは加工しやすく軽量のわりには強度もあり本棚としては十分機能するものになると考え、この教材を開発した。

2. 利用方法

この教材は小学校高学年の図工の時間を使って製作する。さらに、社会科や総合的な学習の時間で環境問題を取り上げることで児童生徒の意識を高め、教育効果が上がると思われる。

3. 工夫したこと

本棚としての強度を考えたときにダンボールを切って、ボンドで接着するだけではとても本の重みを耐えられるものではなかった。そこで、層が二重となっているダンボールを用い、接合部に切り込みを入れて、接合部の面積を大きくするようにした。そうすることでダンボールとダンボールがジグソーパズルのように組み立てることができ、接着も簡単になった。

下の写真の本棚は、一般的な色のダンボールを使用した教材としては、多種多様なダンボール素材を利用すると児童生徒のオリジナリティを出すことができる。

